

御 礼

ストップ温暖化「エコカップやまがた2018」実行委員会

委員長 佐藤 五郎



昨年（2018）12月ポーランドのカトヴィツェで第24回締約国会議（COP24）が開催され、ようやくパリ協定の実施に向けて動き出すことができました。温暖化が進行している現状にブレーキをかけなければ破局的な事態に陥ることは周知のとおりです。自然現象や社会現象の多くは人口増加の如く指数関数的に変化していきます。その一方で変化に対処するのは一次関数的なのがほとんどです。この違いが様々な問題を引き起こし、ときには取り返しのつかないことになります。地球温暖化現象も、このようなライン上にあることを意識する必要があるでしょう。

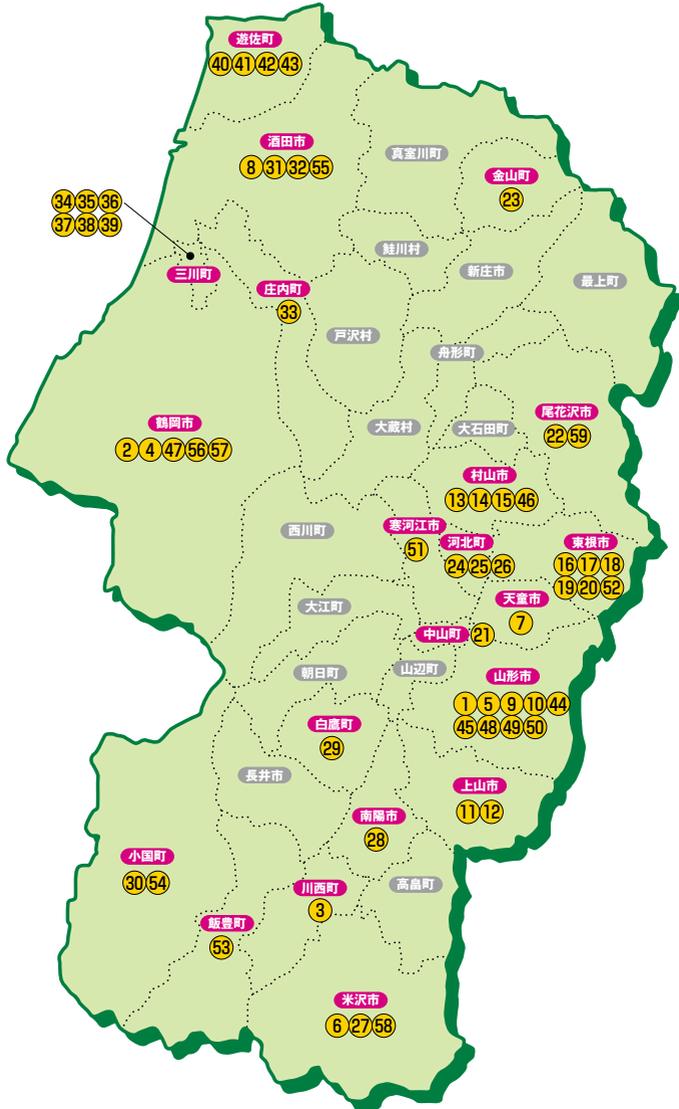
このような中で、第12回目となる「エコカップやまがた」において、今回も県内各地から59件もの活動事例が寄せられました。なかでも省エネ活動や様々なリサイクル活動に取り組まれている事例が最も多く、まずは身近なところから温暖化防止に向かう意気込みが感じ取れました。さらに複数の活動を組み合わせながら取り組んでいる事例も増加しており、工夫と熱意に溢れ前進する意気込みも伝わってきました。二段階にわたって応募書類を拝見させて頂き最終的には8件の事例発表から、生ゴミ堆肥を回収して野菜を育て、さらに加工商品化したものを市民に還元する事業を進めている「みちのく屋台こんにゃく道場」様を大賞に選出しました。この活動の一角には障がい者の方の参加もあり地域コミュニティとしても確立されています。継続した取組みこそが温暖化防止活動にとって最も大切な事と考えられます。このような観点でも皆様方の活動に深甚より敬意と感謝の意を表し御礼とします。

【ストップ温暖化「エコカップやまがた2018」実行委員会】

<委員長> 佐藤 五郎 (NPO法人 最上川リバー・ツーリズムネットワーク 代表理事)
小谷 卓 (鶴岡工業高等専門学校 名誉教授)
青塚 晃 (株式会社山形新聞社 論説副委員長)
菅原 弘紀 (NPO法人 山形県自動車公益センター 顧問)
佐藤 孝喜 (山形県環境エネルギー部環境企画課長)

活動地域マップ

～ どの市町村で活動しているのかな？ ～



※マップの番号と団体名は、「3・4ページ」に記載していますので、ご覧下さい。

ストップ温暖化「エコカップ やまがた2018」

目 次

実行委員長あいさつ、実行委員の紹介	1
活動地域マップ	2
目 次	3～4
活動事例発表会、低炭素杯2019の様子	5～6
活動紹介	7～31
*各団体のページは、以下の一覧をご覧ください。	
共催団体の活動等の紹介	32
過去の「エコカップやまがた」大賞団体	33

【活動内容一覧（全活動団体紹介）】

分類	取り組みの名称	団体名	市町村	マップ 番号	ページ
発表 (受賞) 団体	やまがた「生ごみやさいくろ」で就労支援	みちのく屋台こんにやく道場	山形市	①	7
	企業の壁を取り払った環境保全活動	庄内環境マネジメント研究会	鶴岡市	②	8
	川西町フレンドリープラザ雪冷房システム	川西町	川西町	③	9
	環境フェアつるおか事業	環境つるおか推進協議会	鶴岡市	④	10
	「Q1.0住宅」でめざそう快適健康住宅(生活)	一般社団法人新木造住宅技術研究協議会山形支部	山形市	⑤	11
	木質バイオマス発電による森林整備への取り組み	グリーンサーマル米沢株式会社 米沢南発電所	米沢市	⑥	12
	高校生SDGsセミナーから学ぶ環境活動の実践	学校法人山形電波学園 創学館高等学校	天童市	⑦	13
再生可能エネルギーを利用して、環境保全に全力で取り組む	山形県立酒田光陵高等学校 エネルギー技術科	酒田市	⑧	14	
行政・ 地球 温暖 化 対策 地域 協議 会	キャンドルスケープinやまがた2018	山形市	山形市	⑨	15
	環境や省エネルギーに配慮した取り組み	山形市西消防署	山形市	⑩	15
	キャンドルナイトの開催	上山市地球温暖化対策地域協議会	上山市	⑪	15
	グリーンカーテンモデル事業	上山市地球温暖化対策地域協議会	上山市	⑫	16
	公共施設グリーンカーテン設置事業	村山市	村山市	⑬	16
	木質バイオマス利用拡大支援事業	村山市	村山市	⑭	16
	太陽光発電システム等設置補助金	村山市	村山市	⑮	17
	MBH運動	東根市	東根市	⑯	17
	リユース食器事業	東根市	東根市	⑰	17
	環境ISOの取組	東根市	東根市	⑱	18
	環境週間ひがしね	東根市	東根市	⑲	18
	東根市住宅用太陽光発電システム設置支援事業費補助金	東根市	東根市	⑳	18
	住宅用太陽光発電システム設置補助金	中山町	中山町	㉑	19
	再生可能エネルギー設備導入事業	尾花沢市	尾花沢市	㉒	19
	役場新庁舎太陽光パネル設置事業	金山町	金山町	㉓	19
	環境フェアの開催	河北町役場	河北町	㉔	20
生ごみ密閉式処理容器購入設置補助事業	河北町役場	河北町	㉕	20	
太陽光発電システム設置補助事業	河北町役場	河北町	㉖	20	

分類	取り組みの名称	団体名	市町村	マップ番号	ページ
行政・地球温暖化対策地域協議会	自然素材でリースづくり	置賜地域地球温暖化対策協議会	米沢市	(27)	21
	地域材を活用した木造公共施設 「シェルターなんようホール(南陽市文化会館)」	南陽市	南陽市	(28)	21
	再生可能エネルギー設備設置補助事業	白鷹町	白鷹町	(29)	21
	生ごみ堆肥化事業	小国町	小国町	(30)	22
	緑のカーテン事業	酒田市	酒田市	(31)	22
	廃食用油からのエコキャンドル作り	酒田市	酒田市	(32)	22
	地球温暖化防止イベントの実施	風車村エコランド実行委員会	庄内町	(33)	23
	廃食用油(植物性)の集団回収	三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	(34)	23
	住民参加型「空き缶回収事業」	三川町、三川町衛生組織連合会、各小学校、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	(35)	23
	町内会等集団資源回収、資源リサイクルステーション、資源ポストによる資源リサイクルの推進	三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	(36)	24
	町民へのゴーヤ苗の配布及び公共施設、各小中学校、保育園・幼稚園へのグリーンカーテンの設置	三川町、三川町衛生組織連合会、各小学校、みかわ保育園・幼稚園、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	(37)	24
	・ごみの分別、減量化による地球温暖化防止についての出前講座 ・廃プラスチック卓上油化装置を活用したエコ出前教室の実施	三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、みかわ保育園・幼稚園、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	(38)	24
	住宅用太陽光発電システム設置補助	三川町	三川町	(39)	25
	緑のカーテンプロジェクト事業	遊佐町、遊佐町地球温暖化対策地域協議会	遊佐町	(40)	25
	石けんづくり教室	遊佐町地球温暖化対策地域協議会	遊佐町	(41)	25
	遊佐町再生可能エネルギー設備導入支援事業	遊佐町	遊佐町	(42)	26
	遊佐町小中学校エコ・チャレンジ事業	遊佐町	遊佐町	(43)	26
NPO・団体等	環境出前教室(マイ箸作り)	NPO 環境と食農研究会	山形市	(44)	26
	エコ窓普及推進活動	山形県サッシ・ガラス協同組合	山形市	(45)	27
	環境教室(季節を楽しむ木工制作)	村山市社会福祉協議会 放課後等デイサービス たいよう	村山市	(46)	27
	地域活性化を目指した水路を利用する小型水車の開発	出羽水車プロジェクト	鶴岡市	(47)	27
企業等	太陽光発電システム 本店・小白川支店・アグリセンターに設置	山形市農業協同組合	山形市	(48)	28
	TUYエコキャンペーン 地球温暖化防止&エコ番組 「山形エコプロジェクト えこいろ」制作・放送	TUY 株式会社テレビユー山形	山形市	(49)	28
	環境にやさしい自動車販売・整備事業場	トヨタカローラ山形株式会社	山形市	(50)	28
	はっぴいエコプラザ寒河江	社会福祉法人さくらぼ共生会	寒河江市	(51)	29
	田んぼソーラー	長瀬農園	東根市	(52)	29
	バイオマス燃料の製造販売	中津川バイオマス株式会社	飯豊町	(53)	29
	エネルギーの地産地消を目指した木質ペレットとストーブの普及 ～Green Energy for the Future～	ペレットマン (小国グリーンエナジー合同会社)	小国町	(54)	30
	お客様と一体になったホテルでの環境活動	株式会社ホテルリッチ酒田	酒田市	(55)	30
	事業所での継続的な省エネ活動 ～外部の情報を取り入れての省エネ活動～	株式会社JVCケンウッド山形	鶴岡市	(56)	30
	地域資源活用リサイクル事業 再生可能エネルギー普及・開発	株式会社 渡会電気土木	鶴岡市	(57)	31
エービーエムエコアクション大賞創設	株式会社エービーエム	米沢市	(58)	31	
学校	温水ため池にすむ生きもの調べ	尾花沢市常盤小学校	尾花沢市	(59)	31

温暖化防止活動事例収集・発信事業 ストップ温暖化「エコカップやまがた2018」 活動事例発表会

平成30年10月27日の活動事例発表会では、報告いただいた59団体の中から実行委員会より推薦された8団体が事例の発表を行いました。多くの方にご参加をいただき、事例発表を聞いて参考になったという声が多数寄せられました。発表団体の皆様、ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

発表団体のうち、「みちのく屋台こんにゃく道場」に『エコカップやまがた大賞』が、「庄内環境マネジメント研究会」に『エコカップやまがた実行委員会特別賞』が贈られました。

<エコカップやまがた大賞>

- ◎みちのく屋台こんにゃく道場
「やまがた『生ごみやさいクル』で就労支援」

<エコカップやまがた実行委員会特別賞>

- ◎庄内環境マネジメント研究会
「企業の壁を取り払った環境保全活動」

<エコカップやまがた賞>

- ◎川西町
「川西町フレンドリープラザ雪冷房システム」
- ◎環境つるおか推進協議会
「環境フェアつるおか事業」
- ◎一般社団法人新木造住宅技術研究協議会山形支部
「『Q1.0住宅』でめざそう快適健康住宅(生活)」
- ◎グリーンサーマル米沢株式会社 米沢南発電所
「木質バイオマス発電による森林整備への取り組み」
- ◎学校法人山形電波学園 創学館高等学校
「高校生SDGsセミナーから学ぶ環境活動の実践」
- ◎山形県立酒田光陵高等学校 エネルギー技術科
「再生可能エネルギーを利用して、環境保全に全力で取り組む」



低炭素杯2019

みちのく屋台こんにゃく道場（山形市） 「やまがた『生ごみやさいクル』で就労支援」 【環境大臣賞 金賞】受賞

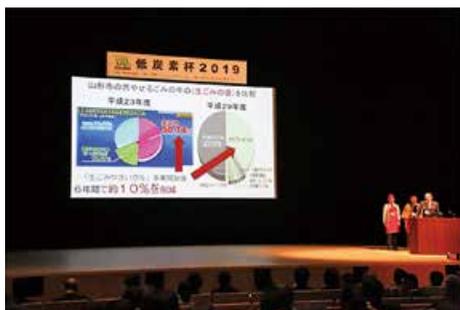
2019年2月8日に、今回で9回目を迎える「低炭素杯2019」が川崎市で開催されました。

「低炭素杯」は、全国の市民・企業・学校・自治体などの多様な主体が取り組む地域や団体の特性に応じた個性的な温暖化防止の活動を、発表を通じて、取組のノウハウや情報を互いに共有し、さらなる活動に向けて連携の輪を広げていくものです。

「低炭素杯2019」では、全国からエントリーされた1,425団体のうち、厳しい審査を経て選ばれた28団体が、「ジュニア・キッズ部門」「学生部門」「市民部門」「企業・自治体部門」の4つの部門別に、4分間のプレゼンテーションを行いました。

山形県からは、山形市の障がい者就労支援施設「みちのく屋台こんにゃく道場」が出演し、活動を全国へアピールしました。

審査の結果、「環境大臣賞 金賞（市民部門）」を受賞しました。



「低炭素杯2019」の詳細は
ホームページ
(<https://www.zenkoku-net.org/teitansohai/>)
にてご覧いただけます。





エコカップ やまがた 大賞

山形市

やまがた『生ごみやさいクル』で 就労支援

みちのく屋台こんにやく道場 [マップ番号: ①]

「私たちは生ごみやさいクル事業」に参加し市民の持ち寄った生ごみのたい肥を回収し、その堆肥を活用し循環型の野菜づくりを行っています。最近では、その野菜を使った加工品も増え、市民の方が楽しんで事業に参加、エコの意識が高まっています。また事業を通し障がい者の社会参加の場が増え地域コミュニティーが確立されました。

年間約7トン分の生ごみを削減、堆肥化することで燃やせるごみを有効活用し、税金の軽減化が図れています。やさいクルの商品や加工品が増えていくことでブランド力があがり障がい者の方々の就労の工賃アップも図られ、社会の一員としての一端を担っていると思います。他の自治体でも山形を参考にし、事業に取り組んでいるところもあることでかなりの先進性があり、注目が集まっています。まさに地域の連携を図り障がい者の就労支援につなげながら新たな商品を生み出す、まさに環境に配慮した発展性のある事業と言えます。





庄内地域

企業の壁を取り払った環境保全活動

庄内環境マネジメント研究会 [マップ番号: ②]

当研究会は2001年に企業・団体が協力し、環境に関する地域貢献活動、情報交流を通じ環境活動を継続的に改善する。を目的に16企業・団体で発足し現在に至っています。

主な取組

・省エネパトロール

2004年より「競争」ではなく「協調」をスローガンに診られる立場・診る立場での相乗効果、他社を知る・良いところはまねる、ネットワークの充実を掲げ実施。これまでに9社、1行政で実施。

・近隣企業新入社員環境合同研修

2006年より近隣企業合同で開催。地球温暖化等に関する一般講義に加え、鶴岡駅周辺のごみ拾い(モニタリング)を通じ、環境について考える機会、新入社員(同世代)の交流・情報交換の場にもなっています。これまでに延べ51社、366名が研修了。

・こども環境学習ひろば

2011年より環境フェアつるおかの催しの一つとして実施。講義及び廃食油でろうそく作りを通し水の大切さを学んでいただいています。それ以外にも酒田市会場でも開催。ソーラーカー工作、牛乳パック葉書づくりなども実施。

省エネパトロール

～企業の壁を取り払った環境保全活動～ 環境は競争ではなく協調





エコカップ やまがた賞

川西町

川西町フレンドリープラザ 雪冷房システム

川西町 [マップ番号: ③]

川西町では、劇場や図書館などの大型複合施設「フレンドリープラザ」に、雪を使った冷房を導入しています。これは、雪国にとって“やっかいもの”であった雪を貯蔵し、夏に資源として活用するという古くて新しいシステムです。このシステムを導入したことにより年間約14トンのCO₂排出を削減しています。雪冷房システムの雪を貯蔵する貯雪庫は2棟あり、大きさは延床面積394平方メートル、軒高8.2メートルで、貯雪計画量は963トンとなっています。この給雪量で年間334時間の冷房能力があり、フレンドリープラザの冷房能力を十分確保しています。





鶴岡市

環境フェアつるおか事業

環境つるおか推進協議会 [マップ番号：④]

環境フェアつるおかは、「できることから始めよう」を合言葉に、市民が環境問題を身近に考え、行動するきっかけやヒントを見つける場として平成11年度から毎年開催しています。

市民の環境に対する意識向上、及び環境モラルの醸成を図り、地球温暖化の防止や自然環境の保全、再生可能エネルギーの普及、リサイクルなどをテーマに約60の事業者や団体、行政が出展し、取り組みの紹介や工作体験、再エネ・省エネ製品やエコライフの提案等を行っています。

第20回目となる今年は、「クールチョイス(=賢い選択) ～いまやろう！ 未来のためにできること～」をメインテーマに掲げ、公共交通バスの無料乗車体験や国立環境研究所の高橋潔氏による記念講演などの催しを盛り込み、例年より規模を拡大して実施しました。

地球温暖化防止対策の国民運動であるクールチョイスの普及啓発とともに、本事業の更なる発展を目指していきます。





エコカップ やまがた賞

山形市

『Q1.0住宅』でめざそう 快適健康住宅(生活)

一般社団法人新木造住宅技術研究協議会

山形支部 [マップ番号: ⑤]

新木造住宅技術研究協議会(新住協)では、必要十分な快適性と省エネ性を備えた「Q1.0住宅」を提唱し、2009年から活動。その中で特に取組みを推進したい山形県内のメンバーが山形支部として、技術研修会、PR活動、一斉見学会、施工現場視察などを実施し、1社では持てない総合力を、スキルアップと受注に繋げています。消費者向けには、ホームページでの情報提供やセミナーの開催、断熱リフォーム診断の実施などの啓発活動を行っています。

『Q1.0住宅』とは、一般的な高断熱高気密住宅の暖房エネルギー消費量が半分以下で済む住宅。国の省エネ基準を超えた超省エネ住宅では、エネルギー使用量の削減に繋がり地球温暖化防止にも大きな効果があり、建物内の快適性も向上し健康面の向上にもつながります。これは、山形県が推奨している『やまがた健康住宅』の基準を上回る住宅になります。また、既存住宅に対しては、『断熱耐震同時改修』を提唱しており、既存の住宅を高断熱高気密住宅に断熱性能を向上させるだけでなく、耐震性能も同時に改善するリフォームを行っています。

今年度は新たに、これまで Q1.0住宅を建築した工務店、施主が協働で、Q1.0住宅の検証を行い、Q1.0住宅より高め、つくる側とすむ側協働で Q1.0住宅の普及を目指す「生活倶楽部」の活動も開始しています。



消費者向けのセミナー



エコカップ やまがた賞

米沢市

木質バイオマス発電による 森林整備への取り組み

グリーンサーマル米沢株式会社

米沢南発電所 [マップ番号: ⑥]

木材輸入自由化や需要減少などで林業が衰退を続けた結果、森林は手入れがなされず荒廃し、密集した木々は健全な成長ができず、木材の価値が下がるという悪循環が長く続いてきました。また、伐期を迎えた樹木も採算が取れない部位は林地に残されたままにされてきました。

FIT制度に基づく木質バイオマス発電により、これら未利用材を有効に活用することで森林の整備や再生を促進し健全な人工林の育成が期待できます。

森林の整備・再生は、森林の多面的な役割（生物多様性の保全、土砂災害防止、水源涵養など）を有効に機能させる効果もあり、木質バイオマス発電とその関連事業は林業活性化や森林整備にとどまらず広く社会へ貢献します。

さらに、林業活性化に伴う地域雇用拡大や経済波及効果などでも地域振興に寄与します。





エコカップ やまがた賞

天童市

高校生SDGsセミナーから学ぶ 環境活動の実践

学校法人山形電波学園

創学館高等学校 [マップ番号: ⑦]

今年7月に東北6県から代表高校(合計12高校)が一堂に集まり、「持続可能な社会」について学ぶ「高校生SDGsセミナー」が開催されました。本校は山形県代表として参加し、エコ活動として取り組んでいる再生資源化の利用した協働活動を発表しました。授業で学んだ技術を“モノづくり”に活かし、親子ものづくり教室(出前授業)や地域行事に参加して有効に利用しています。また、天童警察署、地元企業と連携して信号機のない交差点の表示器製作を設計しています。

各団体との協働事業で実践展開しています。また、全国ユース環境ネットワークで全国に情報を発信しています。





エコカップ やまがた賞

酒田市

再生可能エネルギーを利用して、 環境保全に全力で取り組む

山形県立酒田光陵高等学校

エネルギー技術科 [マップ番号: ⑧]

本校がある山形県酒田市の西南部一体の庄内砂丘は日本三大砂丘の一つとされているが砂の山といったイメージではなく、クロマツ林に覆われた自然豊かな環境となっている。このような環境になったのは、強い季節風から農地を守るために300年ほど前からクロマツを植林してきた先人の努力があった。しかし、7年前に本校を建設するときに、貴重なクロマツ林を一部伐採して建てた経緯がある。また、目指す学校像の中に「公益活動、自然環境の保護、地域拠点校としての役割」という目標が設定されている。このように生徒の公共精神の育成を重点課題として位置づけ、全校生徒によるクロマツ林の清掃活動や保護活動を行い、また工業科の生徒が再生可能エネルギーを利用して二酸化炭素の排出を抑え学校内外の環境保全に全力で取り組むことを実践している。



太陽光発電設備の設置作業



地域貢献作業

山形市

キャンドルスケープinやまがた2018



山形市 [マップ番号: ⑨]

「キャンドルスケープinやまがた2018」は、国のライトダウンキャンペーンの一環として行われ、今年度で14回目を迎えました。まちにキャンドルをともすことで普段のライフスタイルを見つめ直し、節電と地球温暖化防止の啓発を図るイベントです。今年度は山形市役所前など6会場で開催され、福祉分野のNPOの他、多くの団体の協力により、キャンドルの光に包まれながらのコンサートなど思い思いにスローな時間を過ごすことができました。

山形市

環境や省エネルギーに配慮した取り組み



山形市西消防署 [マップ番号: ⑩]

西消防署庁舎は、平成24年10月1日から供用しています。建物は免震構造で、敷地内には自家用給油取扱所、ヘリポート、自家用発電設備を備え、大規模災害の発生時には、災害対応の拠点として位置づけられる施設です。また、環境や省エネルギーに配慮した施設として、敷地内に最大限の緑地を確保し、建物の南側壁面上部には合計で90㎡のソーラーパネルを設置することで温室効果ガス排出量の削減に努めております。

上山市

キャンドルナイトの開催



上山市地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ⑪]

当協議会では、平成30年12月8日に十日町ポケットパークにおいてキャンドルナイトを開催しました。キャンドル作成時に、子供達に「地球温暖化のおはなし」のリーフレットを渡し、電気を消して地球のことを考えるキャンドルナイトについて説明しました。

当日は、隣の二日町プラザで、親子で環境に関する問題を解いてもらう「エコクイズ」なども行い、地球温暖化の理解を深めていただきました。(56名参加)

上山市

グリーンカーテンモデル事業



上山市地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ⑫]

当協議会では冷房効果の向上が期待できるグリーンカーテンの普及を目的とした事業に取り組んでいます。例年、ゴーヤやアサガオ栽培の紹介を行っており、今年度は、市内公民館、公衆トイレ、協議会会員の施設等においても同様のモデル事業として紹介に取り組んでいます。

また、壁面やネットを設置することが難しい所においても簡単にグリーンカーテンを設置できる「どこでもグリーンカーテン」と命名したキットを製作しています。

これらにより日差しを遮り、エアコンの使用頻度を減らし、省エネ効果でCO₂を削減し、うるおい環境の創出など地球温暖化防止およびその周知に取り組んでいます。

村山市

公共施設グリーンカーテン設置事業



村山市 [マップ番号: ⑬]

夏季の省エネと地球温暖化防止のため、公共施設のグリーンカーテン設置に取り組んでいます。平成30年度は、12施設でグリーンカーテンを設置し、直射日光が遮られ、エアコンの設定温度を抑えることができました。また、窓辺の緑が職員や児童に涼しさを提供してくれました。

村山市

木質バイオマス利用拡大支援事業



村山市 [マップ番号: ⑭]

再生可能エネルギーの普及促進を図るため、木質バイオマス燃焼機器（ペレットストーブ、薪ストーブ等）を設置する個人及び事業者に対し、補助金を交付しています。補助金額は補助対象経費の3分の1（10万円上限）です。

村山市

太陽光発電システム等設置補助金



村山市 [マップ番号: ⑮]

再生可能エネルギーの普及促進を図るため、太陽光発電システム、蓄電池を設置する個人及び事業者に対し、補助金を交付しています。補助金額は以下のとおりです。

- ・太陽光発電システム：1kW当たり30,000円（4kW上限（法人は10kW未満上限））
- ・蓄電池：補助対象経費の10分の1（10万円上限）

東根市

MBH運動



東根市 [マップ番号: ⑯]

地球温暖化防止に向けて、できることから始める環境への取り組みとして平成20年5月からMBH（マイバッグ・マイはし持参）運動を全市を挙げて行っています。マイバッグ持参運動は当初4店舗でレジ袋の有料化をスタートし、現在は8店舗で実施しています。マイバッグ持参率は約90%で市民に定着し、レジ袋の使用枚数が削減されています。市職員におけるマイはし持参運動も実施しています。また、ひがしねマイはしクラブ登録制度、レジ袋削減推進店舗登録制度を設け、市商工会と協力して運動を広げていきます。

東根市

リユース食器事業



東根市 [マップ番号: ⑰]

市内の町内会や子供会、学校等の団体が飲食物を提供するイベント等の事業を実施する際に、繰り返し使用できる飲食容器（リユース食器）を利用する費用を4万円を上限として、東根市環境衛生組合連合会が負担しています。その結果、ごみの発生抑制及びリユース意識の啓発を行い、ごみの減量化を図ることを目的としています。平成29年度は23団体より24回の利用がありました。

東根市

環境ISOの取組



東根市 [マップ番号: ⑱]

東根市は、環境先進都市として、自然豊かな住み良い環境を守り、次代に継承するため、平成13年に県内自治体の中で、いち早く環境ISO14001の認証を取得し、以後、継続して認証を受け、地球温暖化防止や環境保全に関する取組を進めています。

また、小・中学校では、児童生徒や教職員が一体となって取り組む「さくらぼ環境ISO」を、さらに保育所等でも「家庭版環境ISO」という家族で省エネ活動を実施してもらう取組を行っており、環境ISO理念を、未来を担う子どもたちに向け、普及啓発を積極的に取り組んでいます。

東根市

環境週間ひがしね



東根市 [マップ番号: ⑲]

毎年11月中旬頃に「環境週間ひがしね」というイベントを開催しています。市民、事業所、行政が一体となって環境問題に取り組むことを目的に、平成17年度から実施しています。平成27年度からホールでの講演会をメインイベントとする形式から、各イベントを回るブース形式へとリニューアルして実施しています。

また、昨年度はスタンプラリーやリサイクル自転車の抽選会などを実施し、約700名の来場者にお越しいただきました。

今年度は11/18～11/25の期間を環境週間とし、18日にオープニングイベントを実施しました。

東根市

東根市住宅用太陽光発電システム設置支援事業費補助金



東根市 [マップ番号: ⑳]

東根市では地球温暖化防止対策の一環として、平成21年度より住宅用太陽光発電システムを設置する住民の方に対して補助金を交付しています。

補助金額としては、1kWあたり30,000円で、上限額は既築、新築ともに120,000円となっています。今年度より、太陽光発電設備の設置と併せて設置する蓄電池設備も、補助対象としております。

平成29年度の補助金交付件数は69件です。

中山町

住宅用太陽光発電システム設置補助金



中山町 [マップ番号: ㉑]

中山町では、地球温暖化防止を推進し、太陽光エネルギーを利用した発電システムの普及を図るため、住宅用太陽光発電システムを設置する住民の方に対して補助金を交付しています。

太陽光発電設備の補助金額は、1kW当たり25,000円で、上限額は新築60,000円、既築120,000円です。

また、平成28年度から新たに補助対象とした蓄電池設備（太陽光発電設備の設置と併せて設置する場合に限る）の補助金額は、補助対象経費の10分の1の額で、新築・既築を問わず、上限120,000円です。

尾花沢市

再生可能エネルギー設備導入事業



尾花沢市 [マップ番号: ㉒]

尾花沢市では、平成26年度より地球温暖化防止と資源循環型社会づくりを推進するため、家庭や事業所における再生可能エネルギー設備の導入経費に対して助成を行っています。平成29年度の補助実績は、太陽光発電設備が6件、ペレットストーブが7件、薪ストーブが1件となっています。豪雪地である当市では、太陽光発電設備よりも木質バイオマス燃焼機器が多く導入されており、今後もペレットストーブや薪ストーブの導入を中心とした再生可能エネルギー設備の導入を積極的に支援してまいります。

太陽光発電設備よりも木質バイオマス燃焼機器が多く導入されており、今後もペレットストーブや薪ストーブの導入を中心とした再生可能エネルギー設備の導入を積極的に支援してまいります。

金山町

役場新庁舎太陽光パネル設置事業



金山町 [マップ番号: ㉓]

金山町役場新庁舎壁面に太陽光パネルを設置するとともに、災害時等に電気エネルギーの供給手段が断たれた際を想定して蓄電池を設置しました。災害時には、災害対策本部を設置する際に使用する電力が確保できるようになります。

また、発電した電力は、通常時には役場庁舎内で使用することができるようになり、自然エネルギーを使用することでCO₂排出量の削減につながります。

パネル出力 25.2kW

蓄電池容量 16.2kWh

河北町

環境フェアの開催



河北町役場 [マップ番号: 24]

自然環境の保護や循環型社会の形成促進及び地球温暖化防止の推進を目的に、誰でもできる身近な環境保全について、子どもから大人まで参加できるイベントである環境フェアを年1回実施し、啓発・広報や環境教育に取り組んでおります。

地球温暖化防止のため、ごみの減量と資源のリサイクルを目的とした小型家電や衣類のリサイクル回収や、家庭での省エネの取組を啓発・推進する家庭のアクションの登録受付などを実施しております。

河北町

生ごみ密閉式処理容器購入設置補助事業



河北町役場 [マップ番号: 25]

地球温暖化防止のため、一般家庭でもごみ減量の役割が求められており、河北町では一般家庭から排出される生ごみの減量化と堆肥化による再生利用を促進するために生ごみ密閉式処理容器の購入に対し補助金を交付しています。

2基で1組とし、補助額は購入価格の2分の1以内の額(3,000円程度)です。

河北町

太陽光発電システム設置補助事業



河北町役場 [マップ番号: 26]

地球温暖化防止のため、一般家庭でも省エネ等の役割が求められており、河北町では平成23年度から太陽光発電システム設置費用の補助制度を設けました。平成27年度から町内の事業所への設置にも対象を拡大しました。

対象は町内の住宅及び町内の事業所に設置するもので、補助額は1kWあたり30,000円(4kWh上限)です。

置賜地域

自然素材でリースづくり



置賜地域地球温暖化対策協議会 [マップ番号: ㉗]

地球温暖化防止の周知啓発イベント（環境講座と体験講座）を平成21年度から開催しています。平成30年度は高畠町で開催し、体験講座「自然素材でリースづくり」では、身近にある樹木はCO₂を吸収し地球温暖化防止に大きな役割を果たしていること、また、自然素材で作ったリースは環境に負荷を与えないで処分できることを学びました。環境講座では、地球温暖化防止の大切さ、身近にできる省エネの取組みなどを紹介しました。

南陽市

地域材を活用した木造公共施設「シェルターなんようホール（南陽市文化会館）」



南陽市 [マップ番号: ㉘]

平成24年度林野庁所管「森林整備加速化・林業再生事業」の先駆的モデルとして事業採択を受け、事業期間を2箇年とし延床面積5,900㎡を有する新文化会館の建設に着手し、平成27年10月にグランドオープンしました。全国初となる木造耐火による文化ホールとして整備することにより、森林資源を地域産業に結び付け、木材利用の新たな可能性を拓げる契機となり、川上から川下まで関係者が一体となった持続可能な循環型社会形成を目指した先導的な取り組みと捉えています。

白鷹町

再生可能エネルギー設備設置補助事業



白鷹町 [マップ番号: ㉙]

白鷹町では、平成25年度より住宅における再生可能エネルギー利用の普及を推進し、地球環境の保全に寄与するため、再生可能エネルギー設備を設置する方に対して、補助金を交付しています。平成27年度からは太陽光発電のほかに、木質バイオマス燃焼機器（ペレットストーブ及び薪ストーブ）にも拡充した補助事業を実施しています。

住宅用太陽光発電設備には太陽電池出力1kWあたり25,000円（上限10万円）、木質バイオマス燃焼機器には補助対象経費の2分の1（上限10万円）の補助をしています。平成29年度の補助実績は、住宅用太陽光発電設備が1件、木質バイオマス燃焼機器が4件となっています。

小国町

生ごみ堆肥化事業



小国町 [マップ番号: ③0]

- ①家庭から出る生ごみを堆肥にし、ごみ削減と食の安心安全への理解を深めることを目的として実施している。町内の一部地域、保育園から密閉バケツで一次発酵させた生ごみを各玄関前から回収し農家の畑に施肥する。生産した野菜は、保育園の給食に供給したり、スーパーで販売することで資源が循環する仕組みづくりをしている。
- ②ごみの削減、安全安心な作物の供給。
- ③回収地域を拡大しさらなるごみの削減を図る。

酒田市

緑のカーテン事業



酒田市 [マップ番号: ③1]

平成20年度から簡単にできる省エネ・地球温暖化対策として市の施設に緑のカーテンを設置しています。平成26年度からは、ゴーヤの種と育て方の手引を無料で配布しています。平成30年度は、個人の方(約480世帯)や事業者、公共施設に約11,400粒配布しました。(平成22年度～25年度まではゴーヤの苗を配布していました)

酒田市

廃食用油からのエコキャンドル作り



酒田市 [マップ番号: ③2]

平成23年度より、小学校の高学年を対象に、廃食用油を原料としたエコキャンドル作りを行っています。そしてリサイクルをはじめとする3Rに関する説明を行うことにより、ゴミの減量化や省エネルギーについても考えてもらいます。このエコキャンドルを夏至と七夕のライトダウンを行う際に使ってもらうことで、地球温暖化防止を含めた環境教育につながっています。平成30年度の参加人数は、15組34名でした。

庄内町

地球温暖化防止イベントの実施



風車村エコランド実行委員会 [マップ番号: ③③]

風車村エコランド実行委員会では、地球温暖化防止活動の一環として、下記のようなイベントを実施しました。

5月13日 木に親しむ為のきのこの菌打ち体験 参加者59名

6月17日 使用済みのローソクを再利用して、エコキャンドルづくり 参加者28名

7月14日 家の電気を消して、夜の風車村を散策し、楽しみながらCO₂を削減する風車村ナイトガーデン

7月22日 わくわくエコ工作教室 参加者260名

水流をさかのぼる不思議な水車づくり、風車づくり体験、アイスクリームづくり体験などエネルギーに関する事、カプトムシ相撲大会で自然に親しむ体験、牛乳パックを使ったりリサイクル工作を実施

三川町

廃食用油(植物性)の集団回収

三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、
三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ③④]

平成21年度から、各家庭の廃食用油(植物性)を各町内会で設置した回収ボックスにより回収しています。

各町内会から回収された廃食用油は、事業所から回収された廃食用油とともに鶴岡市内の民間工場でバイオディーゼル燃料(BDF)にリサイクルされています。そのことにより、ごみ総量の減量や燃料費の削減が図られるとともに、町民の環境保全に対する意識啓発等に繋がっています。

なお、平成29年度は、各町内会から569ℓの廃食用油を回収することができました。

三川町

住民参加型「空き缶回収事業」

三川町、三川町衛生組織連合会、各小学校、各町内会、
三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ③⑤]

各家庭から出る空き缶を各町内会が設置した回収ボックスで分別回収することにより、ごみ総量の減量とCO₂の削減、環境保全の意識啓発を図りました。

平成29年度は、アルミ缶が5.9t、スチール缶が2.3t、合計で8.2t回収しました。

また、町立の横山小学校、東郷小学校、押切小学校の3小学校で実施している空き缶回収は、平成29年度にアルミ缶0.6t、スチール缶0.1t、合計0.7tを回収することができました。

三川町

町内会等集団資源回収、資源リサイクルステーション、資源ポストによる資源リサイクルの推進



三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、
三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ③⑥]

各家庭から出る資源ごみについて、各町内会等による集団資源回収、町公民館駐車場に設置した資源リサイクルステーションと資源ポストで回収することにより、ごみ総量の減量とCO₂の削減、資源リサイクルの意識啓発を図りました。

平成29年度は、集団資源回収を全27町内会で延べ65回実施し、資源リサイクルステーション及び資源ポストを51日間開所しました。

その結果、集団資源回収では計181.6t、資源リサイクルステーションでは計85.4t、資源ポストでは計7.3t、合計で274.3tの資源ごみを回収することができました。

また、平成29年3月下旬に、資源ポストの南隣に使用済小型家電専用プレハブを設置し、使用済小型家電を回収しています。平成29年度は、計897kgの使用済小型家電を回収し、851kgの再資源化につながりました。

三川町

町民へのゴーヤ苗の配布及び公共施設、各小中学校、保育園・幼稚園へのグリーンカーテンの設置



三川町、三川町衛生組織連合会、各小学校、みかわ保育園・幼稚園、
各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ③⑦]

希望する町民へゴーヤ苗の無料配布（平成30年度は、85世帯と6事業所、426ポット）及び公共施設等へのグリーンカーテンの設置（平成30年度は、役場等の公共施設3ヶ所、各小中学校4ヶ所、保育園・幼稚園1ヶ所の計8ヶ所に計100ポット）を行いました。

町民にグリーンカーテンの設置を奨励するとともに、公共施設や学校等へグリーンカーテンを設置し、室内温度の上昇防止によるエアコン等の稼働抑制が図られ、CO₂の削減、地球温暖化防止の意識啓発に繋がっています。

三川町

- ごみの分別、減量化による地球温暖化防止についての出前講座
- 廃プラスチック卓上油化装置を活用したエコ出前教室の実施



三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、みかわ保育園・
幼稚園、三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ③⑧]

町内会の集会で家庭から出るごみの分別、ごみ総量の減量とCO₂の削減、環境保全についての出前講座を開催しています。

また、今年度も引き続き、みかわ保育園・幼稚園に出向き、廃プラスチック卓上油化装置の実演による環境保全の意識啓発を行う出前教室を実施しました。

三川町

住宅用太陽光発電システム設置補助



三川町 [マップ番号: ③9]

一般家庭での省エネ、新エネルギーの導入を積極的に進めるため、平成26年度より太陽光発電システム設置費用の補助制度を行っています。

山形県の制度で、同様の補助金を受ける方も対象になります。

町の補助金の額は、1kWあたり3万円(上限12万円)です。

平成29年度の補助金交付件数は8件で、太陽光発電設備最大出力合計では36.84kWでした。

遊佐町

緑のカーテンプロジェクト事業



遊佐町、遊佐町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ④0]

夏場の省エネ及び地球温暖化防止活動のため、町民、事業者にゴーヤの種の無料配布を行っている。今年度については、種一袋に苗2本をプラス限定100本の枠で行った。

また、役場庁舎をはじめ、地区町づくりセンター、図書館、学校および保育園で緑のカーテンの設置を行っている。29年度は配布本数172本、30年度は200本を設置し、事業に協力いただいている。エアコン等の稼働抑制、CO₂の削減、地球温暖化防止の意識啓発に繋がっている。

遊佐町

石けんづくり教室



遊佐町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ④1]

平成27年度より「子ども省エネ体験教室」と題し、夏休みを利用して小学生とその保護者を対象に、手づくり石けん教室を開催している。町内の団体であるJA庄内みどり女性部せっけん研究会より協力をいただき、廃食油から石けんを作成している。

平成29年度の参加人数は、子ども10人、大人10人。平成30年度の参加人数は、子ども17人、大人27人。今年30年度は、参加人数が大幅に伸びている。

環境汚染問題と資源の再利用を考えたエコな石けんである。また、石けんは、微生物のエサとなって分解されるので川や海を汚さない。地球温暖化防止を含めた環境教育につながる活動である。

遊佐町

遊佐町再生可能エネルギー設備導入支援事業



遊佐町 [マップ番号: ④2]

一般家庭や事業所への再生可能エネルギー設備の導入を普及促進し、地球温暖化防止に寄与するため、平成26年度より太陽光発電設備導入補助事業から木質バイオマス燃焼機器や太陽熱利用などにも拡充した補助事業を実施している。対象は、町内在住者の住宅や事業所に設置する場合で、山形県の補助事業または町の住宅支援制度とあわせて受けることができる。

太陽光発電設備については公称最大出力1kWあたり3万円(上限150,000円)、木質バイオマス燃焼機器については補助率3分の1(上限50,000円)の補助を行っている。

平成28年度実績	太陽光発電設備	6件
	木質バイオマス燃焼機器	2件
平成29年度実績	太陽光発電設備	16件
	木質バイオマス燃焼機器	2件

遊佐町

遊佐町小中学校エコ・チャレンジ事業



遊佐町 [マップ番号: ④3]

児童生徒自らが電気・水道の省エネ目標を設定し行動することで、学校における環境教育と地球温暖化防止に向けた省エネ活動の一層の推進を図ることを目的としている。

削減目標をクリアした学校へは報奨金で還元をし、子供会活動などに役立ててもらおう仕組み。子供たちの省エネの

取組み過程も評価対象として支援する事業である。

子供達の環境学習の取組みの浸透から、家庭生活への波及効果も期待される。

(事業実施期間：平成28年度～平成30年度) ※平成25～27年度についても実施済

山形市

環境出前教室(マイ箸作り)



NPO 環境と食農研究会 [マップ番号: ④4]

各地域の行事や小学校の学年行事などで環境出前教室(マイ箸作り)を開催しています。環境出前教室では、割り箸や森林伐採による環境への影響、地球温暖化の話、自作絵本「ゆうたとおはし」の読み聞かせ、オリジナルマイ箸の製作を通じて、マイ箸利用を子どもたちや保護者の方々へ啓蒙しています。

山形市

エコ窓普及推進活動



樹脂製内窓

- ・雪国でありながら夏の暑さも厳しい山形の気候を配慮
- ・極めて優れた性能を持つ山形産オリジナル断熱ガラス
- ・エコガラス「さくらんぼ」のマーク

山形県サッシ・ガラス協同組合 [マップ番号: ④5]

エコ窓推進を柱にモデル事業として山形市の学校へ断熱窓を寄贈し、また展示会でのPR活動などを行い積極的に活動しております。

消費者がより環境負荷が少ない製品を適切に選ぶことができるように知識・情報を提供し地球環境の保全に努めており、毎年環境マイスター研修を実施してより専門知識を得よう活動しております。

窓の断熱の重要性を広めていくことで温暖化防止へ貢献できるんだという意識をもってもらいたく、消費者へのPR活動を進めております。

村山市

環境教室(季節を楽しむ木育制作)



村山市社会福祉協議会

放課後等デイサービス たいよう [マップ番号: ④6]

平成28年8月より、通所している14名の児童と共に、自然の素材を使った季節を楽しみながら行う木育制作などを2ヶ月に1度開催していただいています。児童たちも普段は捨ててしまう様々なものが新たな形となり利用されていく過程や自然の木々の感触・においなどで季節の移り変わりを感じてくれているようです。

この活動を通し、日々何気なく使用しているものを大切に環境に優しくしていけたらと思っています。今後も連携を取っていただきながら、活動を継続していきたいです。

鶴岡市

地域活性化を目指した水路を利用する小型水車の開発



出羽水車プロジェクト [マップ番号: ④7]

①地域のエネルギー資源(財産)を、②地域の技術で、③地域住民が活用することで、“真の地産地消”による地域振興・環境保全、省エネルギー意識の向上が可能になる。

本プロジェクトは、地域ポテンシャルの一つである水路を利用する小型水車は、地元企業が製造と設置・維持管理が可能な装置の開発と利用(街路灯、熱利用、蓄電池の充電など)を追求している。一般市民も維持管理に参画し易く、環境とエネルギー教育・啓発に加え、地域を知る効果も期待できる。

山形市

太陽光発電システム 本店・小白川支店・アグリセンターに設置



山形市農業協同組合 [マップ番号: ④8]

JA山形市の太陽光発電システムは3基合計で年間162,600kwhを発電します。
これは一般家庭の消費電力量の約50世帯分に相当します。

また、石油に換算すると18Lポリタンク2,050本分、36,900Lに値します。

これからも環境保全・再生可能エネルギーの普及という社会的要請に答え、地域に向けて発信して行きます。

JA山形市の太陽光発電システム	本店ビル	平成21年12月稼働	出力	40kW
	小白川支店	平成22年 3月稼働	出力	12kW
	アグリセンター	平成25年12月稼働	出力	117kW
			合計	169kW

山形市

TUYエコキャンペーン 地球温暖化防止&エコ番組
「山形エコプロジェクト えこいろ」制作・放送

TUY株式会社テレビユー山形 [マップ番号: ④9]

TUYでは、長期的キャンペーンとして、弊社の情報番組やニュース番組、キャンペーンスポット放送を通して「エコ&地球温暖化防止」の啓発活動を展開していますが、更に新鮮で身近な情報を県民に伝えるために、エコと地球温暖化防止のレギュラー番組「山形エコプロジェクト えこいろ」を立ち上げ、2009年6月から放送しています。毎週月曜の夜6時54分から放送の6分間の番組で、毎回一つのテーマを設け、県内で取り組まれている大小様々なエコ活動や温暖化防止に関連する情報を中心に紹介しています。県民一人一人のエコへの関心が身近なものとなり、その取り組みが普段の生活の中から自然に生まれることを目指し、身近な目線で番組をつくっています。

山形市

環境にやさしい自動車販売・整備事業場



トヨタカローラ山形株式会社 [マップ番号: ⑤0]

国土交通省「環境に優しい自動車販売店・整備事業場」認定に挑戦し、05年に全店が“全国初”となる「認定表彰」を受ける。「環境マイスター」の認定者数は県内最多であり、エコドライブ教室や小学校5年生を対象に「日本の自動車産業と環境」の課外授業を開催。

その他、無料でタイヤ空気圧調整を行ったり、ペットボトルキャップ回収を積極的に行い、“世界の子供たちへのポリオワクチンの提供活動”、“リサイクルによるCO₂削減活動”を行っている。

また、本社社屋に大規模な太陽光発電(40kW)を設置、城北店・天童店・新庄店には廃油ポイラーによる「無散水消雪設備」を導入している。

また、本社社屋に大規模な太陽光発電(40kW)を設置、城北店・天童店・新庄店には廃油ポイラーによる「無散水消雪設備」を導入している。

寒河江市

はっぴいエコプラザ寒河江



社会福祉法人さくらんぼ共生会 [マップ番号: ⑤1]

社会福祉法人さくらんぼ共生会では、平成27年4月より、毎週木曜日にフードセンターたかき元町店の店頭にて「はっぴいエコプラザ寒河江」というecoリサイクル活動を障がいをもった利用者が作業工賃のアップのために日々奮闘しております。

この活動は、お客様が持参されるeco資源を回収し、集めた資源をリサイクル業者様に売却し、活動費や作業工賃のアップにつなげることが目的の活動です。

フードセンターたかき様からは、回収資源を持ち寄られるお客様に対して、たかき元町店でのお買い物の際に、当日限り商品を1点10%割引できる「エコプラザグリーン券」をお客様向けに発行していただいております。お客様は、お得なサービスを得られると同時に障がい者支援を行える活動となっています。

東根市

田んぼソーラー



長瀬農園 [マップ番号: ⑤2]

田んぼの上にソーラーパネルを並べ、耕作と共に太陽光発電を行っている。

2012年農水省の指針により条件付きながら農地上にて太陽光発電をすることが認められた(ソーラーシェアリング又は営農型太陽光発電という)。ソーラーシェアリングは発案者の長嶋彬氏の公開特許となっている。

指針の条件に基づき2014年秋、東根市の18aの田んぼに出力約30kWの発電所を作り、翌年の1月より通電開始した。1年間の発電量は約33,000kwhである。パネル下部の稲作も遮光率30%以下でほとんど影響はなく順調に生育している。

飯豊町

バイオマス燃料の製造販売



中津川バイオマス株式会社 [マップ番号: ⑤3]

平成21年11月に操業し、ペレットや薪の燃料等の生産を行っている。ペレットは、置賜地方のペレットストーブに供給。ペレット150t/年の生産を目指している。ペレットや薪を利用することは、ナラ枯れ防止、樹木の若返りを促しCO₂の削減に寄与する。

小国町

エネルギーの地産地消を目指した木質ペレットとストーブの普及
～Green Energy for the Future～

ペレットマン

(小国グリーンエナジー合同会社) [マップ番号: ⑤4]

当社では、人口8,500人ほどの町でストーブ屋を営んでいます。東京23区がすっぽり入るこの町の面積は95%が森林であり、この地元にある豊かな森林資源を活用して地球温暖化防止や町の地域活性化に貢献したいという思いから始めました。

また、当社では、WEBやストーブ展示場「ペレットマン」を開設しストーブのPRを行っていますが、同じ思いでストーブ等を広めていく方達が、鶴岡市や酒田市や最上町等にも展示場「ペレットマン」を開設しました。なお、現在も増殖中です。

また、再エネに関心を持ってもらおうと、当社が事務局を務める「おぐにエネルギーの地産地消を考える会」にて、毎年シンポジウムやフェスティバルを開催し、町内外から多くの参加者が集まります。

酒田市

お客様と一体になったホテルでの環境活動



株式会社ホテルリッチ酒田 [マップ番号: ⑤5]

ホテルリッチ&ガーデン酒田では、国際環境認証「グリーンキー」を観光施設として日本で初めて2009年5月に取得して以来、環境と健康に配慮したホテル作りを実践して活動してきました。会社内の取り組みのみならず、お客様と一体となった活動を展開しています。

【お客様と一体になった活動例】

- ① 連泊のお客様によるシーツ交換不要
- ② お客様によるごみの分別
- ③ 宴会等での廃棄物削減の取り組み

鶴岡市

事業所での継続的な省エネ活動

～外部の情報を取り入れての省エネ活動～



株式会社JVCケンウッド山形 [マップ番号: ⑤6]

弊社は、弊社が参画する「庄内環境マネジメント研究会」の『省エネパトロール』を研究会のなかでもいち早く2004年に受診したことを機に、継続して省エネ活動に取り組んでいます。

2011年夏場と2012年冬場には、山形県の電力測定事業を活用させていただき、工場全体の電力使用状況の再把握を行いました。

内部の自浄作用だけではマンネリ化、活動の停滞も懸念されましたので外部の力を利用させていただきながら、立ち位置及び目標を明確にし省エネ活動を継続してきています。

鶴岡市

地域資源活用リサイクル事業 再生可能エネルギー普及・開発



株式会社 渡会電気土木 [マップ番号: ⑤7]

当社では、地元地域の黒松及び杉材間伐材等を原料とした木質ペレット燃料を年間約1,313t(平成29年度実績)生産し、地域に供給販売しております。化石燃料の代替燃料として各施設のペレットボイラー並びに家庭用ペレットストーブ普及にも力を入れております。

また広葉樹等の木質チップをリサイクル利用した臭いのしないプランター用土等(花優士・元気土)並びに土壌改良材の生産販売、経験を生かした木質ペレットプラントの設計・施工と、環境に優しい事業展開を押し進めております。今年から木質バイオマス発電向け木質チップ生産供給も開始しました。

マイクロ水力発電開発分野に於いては他社と共同で、産学連携開発を実施推進しております。

米沢市

エービーエムエコアクション大賞創設

A-cology Vol.31

2018エコアクション大賞発表!!

種別	賞状	受賞者	表彰理由
特別賞	賞状	株式会社エービーエム	エコアクション大賞の創設に尽力し、優れたエコアイデアを提案した社員を表彰する制度を創設した点。
最優秀賞	賞状	株式会社エービーエム 佐藤 大輔	エコアクション大賞の創設に尽力し、優れたエコアイデアを提案した点。
優秀賞	賞状	株式会社エービーエム 佐藤 大輔	エコアクション大賞の創設に尽力し、優れたエコアイデアを提案した点。
奨励賞	賞状	株式会社エービーエム 佐藤 大輔	エコアクション大賞の創設に尽力し、優れたエコアイデアを提案した点。

文化センターを視察!

株式会社エービーエム [マップ番号: ⑥8]

家庭でできる、実際に取組んでいるエコアイデアを社員約280名から募集し、優れたエコアイデアを提案した社員を表彰する制度です。優れたエコアイデアはアイデアごとにCO₂削減量を調べ、冊子にしたり、また環境コミュニケーションレポートである「エーコロジー」で社員に周知したりすることで、社員のエコ意識の向上を図っています。

尾花沢市

温水ため池にすむ生きもの調べ



尾花沢市常盤小学校 [マップ番号: ⑤9]

貴重な水辺の自然環境を守るために、児童たちが地域の水環境や生態について学ぶ「生きもの調べ」を行っています。自然や水環境の大切さを知ってもらおうと、六沢地区環境保全会の方々と毎年秋に中原ため池(温水ため池)で開催しており、今年で6回目となりました。

「生きもの調べ」は毎年約30名の児童が参加し、東北農政局の職員からため池の役割や生態の説明を受けた後、網とバケツを持って泥の中へ足を踏み入れます。温水ため池にはフナ、ドジョウ、ハヤ、ゲンゴロウなどが多く生息しています。子ども達は泥だらけになりながら魚を捕まえて、友達に自慢するなどしていました。身近に豊かな自然があることを、楽しみながら学んでほしいと思い、毎年「生きもの調べ」を行っています。

共催団体の活動の紹介

山形市

～エコドライブ普及推進事業～

NPO法人山形県自動車公益センター

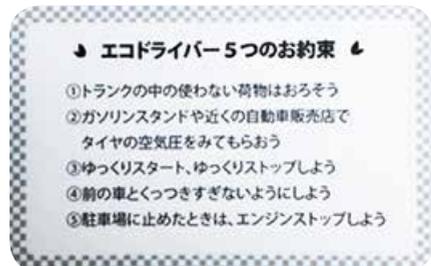
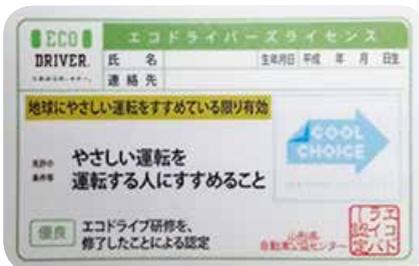
近年、環境に配慮した次世代自動車（HV・PHV・電気・燃料電池・クリーンディーゼル等）の開発・普及を柱に、自動車メーカー各社における安全装置等、技術の革新的発展も含め、温暖化防止に向けた環境整備は基より、今後、加速度的に進む超高齢化社会を見据え、自動車業界における社会的責任である「安心・安全なクルマ社会の構築」に向け、様々な取組みがなされております。

エコドライブ普及に係わる、その革新的な技術・装置等の活用を基に、更なる高い効果を生み出すには、より正確な情報の伝達が求められることから、環境マイスターからの情報発信の精度を高めるべく、これまで以上に環境に係わるイベントへの参画を始め、講習会の開催等々、より積極的に展開して参りたいと考えております。

また、平成27年度より展開しております「子どもエコドライブ教室」は、これまでに26校で開催。「子供の目線で気づく優しいエコ運転」を始め、「より環境・人に優しい山形」でありますよう努めて参ります。



「子どもエコドライブ教室」の様子



修了後には、『エコドライブパーズライセンス』をお贈りします。

過去のエコカップやまがた大賞受賞団体



2007年度

特定非営利活動法人アンプ(新庄市)
「新庄中心商店街資源回収
プロジェクト「ちょぺっと」」



2013年度

山形県立東根工業高等学校(東根市)
「続ける手作り太陽電池パネルと資源の有効活用～持続可能なまちづくりのために～」



2008年度

山形県立置賜農業高等学校(川西町)
「MOTTAINAIプロジェクト」



2014年度

株式会社滝の湯ホテル(天童市)
「人と環境に優しい宿づくり」



2009年度

山形県立東根工業高等学校(東根市)
「ものづくりプロジェクト
～手作り太陽電池パネルから
広がる世界のCO₂削減～」



2015年度

庄内町地球温暖化対策地域協議会
(庄内町)
「庄内町町民節電所」事業



2010年度

港屋商事株式会社(河北町)
「古紙回収を通じての
環境保護活動」



2016年度

南陽市(南陽市)
「地域材を活用した木造公共施設
(南陽市文化会館)」



2011年度

山形県立米沢工業高等学校(米沢市)
「米エゼロエミッション
プロジェクト」



2017年度

東根市(東根市)
「環境ISOの取組」



2012年度

山形県立山形工業高等学校
環境システム研究会(山形市)
「リサイクルDEボランティア」



2018年度

みちのく屋台こんにやく道場
(山形市)
「やまがた「生ごみやさいクル」で
就労支援」



「エコカップやまがた」ホームページも
ご覧下さい。

<http://eny.jp/eco-cup/index2018.html>

エコカップやまがた

検索

温暖化防止活動事例収集・発信事業

ストップ温暖化

「エコカップ やまがた2018」

活動事例集

【製作（主催）】

ストップ温暖化「エコカップ やまがた2018」実行委員会

【共 催】

NPO法人山形県自動車公益センター

【後 援】

山形県、山形県教育委員会

【事務局】

山形県地球温暖化防止活動推進センター

【発行日】

平成31年2月20日



【本冊子についての連絡・問合せ先】

山形県地球温暖化防止活動推進センター
(特定非営利活動法人 環境ネットやまがた)

〒990-2421 山形県山形市上桜田3-2-37

TEL 023-679-3340 FAX 023-679-3389

E-mail eny@chive.ocn.ne.jp ホームページ <http://eny.jp>

※各団体の連絡先は、事務局（山形県地球温暖化防止活動推進センター）までお問い合わせください。

再生紙を使用しています。



環境保護のため、ベジタブルインキを使用しています。